

令和7年度第3回秦野市入札監視委員会議事概要

日 時	令和8年1月27日（火） 午後2時から午後5時まで	
場 所	秦野市役所 教育庁舎3階A・B会議室	
出席者	委 員	荒川委員長、鈴木委員、桑原委員、鞠山委員、東島委員
	事務局	荘司課長、山口課長代理、青野主事

1 開 会

2 議 事

抽出案件の審議について

工 事	
案件番号	案件名称
1	令和7年度二タ子送水ポンプ場外3施設コンデンサ更新工事
審議内容	
<p>二つの工事（No.1及びNo.2・3）はいずれも電気工事であるが、No.1は、所在地要件がE（県内本店・受任地）で、最低制限価格は9割を下回っている、一方No.2・3は所在地要件がA（市内本店）で最低制限価格は他の工事と同様9割であるが、両者の違いを確認したい。</p>	
回 答	
<p>どちらも電気の工事という点は同じです。しかし、No.1は水道施設のプラント設備における専門性の高い工事であり、市内事業者では対応が難しい工事であるため、所在地要件をE（県内）とし、市外事業者が参加する場合は、最低制限価格は下限設定の無い標準変動型としています。一方、No.2・3は通常の電気工事のため、所在地要件はA（市内）で、最低制限価格は90%下限設定としています。</p>	
委員意見等	
特になし	

工 事	
案件番号	案件名称
2、3	令和7年度秦野市立図書館照明設備更新工事
審議内容	
<p>1回目の入札で参加者全員が最低制限価格を下回り、更に2回目の入札でも最低制限価格未満が3者いることから、予定価格（設計価格）の妥当性を確認したい。入札不調の場合の予定価格（設計価格）の見直し算出内容を確認したい。</p>	
回 答	
<p>8月26日の1回目の入札では、余り値が2と小さい数値となった一方で、応札のあった5者の金額がどれも低い金額であったため、どれも最低制限価格を下回ってしまい、入札不調となりました。どの金額を入れるかは事業者の設計によってなので、結果的にこのように不調になることもありえます。</p> <p>仕切り直しとなった10月1日の2回目の入札は、工期をずらしたのみで、設計内容が同じで単価や数量が変わらないため設計価格に変更はありません。2回目は、応札の事業者数が増えて、改めて予定価格が出て、このような結果となりました。</p> <p>入札結果については、一般の方も見られる形でインターネット上に公表しています。</p>	
委員意見等	
特になし	

工 事	
案件番号	案件名称
4	令和7年度柳川地区農道整備工事
審議内容	
<p>最低制限価格未満の応札者が多数に上ることへの対策について確認したい。</p>	
回 答	
<p>この入札においては、17者応札がありましたが、余り値の値により予定価格率が99.9%となり、比較的高い予定価格が出ました。予定価格</p>	

17,752,000 円から 90%で最低制限価格を出しますが、予定価格が高いため、最低制限価格も高くなり、結果的に最低制限価格未満が 13 者となったわけです。余り値の値が低い場合には、このようになることがあります。

現行の予定価格の算出方法は、入札における不正防止の意味合いが強いため、経済性との観点では課題がありますが、より良い入札制度の手法について、今後も検討を重ねたいと考えております。

委員意見等

特になし

工 事

工 事	
案件番号	案件名称
5	令和 7 年度防災行政無線（固定系）屋外子局建替工事
審議内容	
入札参加者が一者であること、及び落札率が高くなった理由を確認したい。	
回 答	
建て替え後に、防災行政無線親局機器との調整が必要となり、調整時にトラブルが発生した際、親局の調整が困難であることから、対応できる事業者が限られています。そのため、落札事業者のみの参加となり、高落札率となったものと考えております。	
委員意見等	
内容として随意契約を検討してもいい案件であると思います。	

工 事

工 事	
案件番号	案件名称
6	令和 7 年度市道 14 号線自転車通行帯整備工事
審議内容	
総合評価方式とした理由は何か。失格基準価格とは何か。	
回 答	
市道 14 号線は市内の主要な道路の 1 つで交通量が多く、また工事区域内の交差点では交通を遮断せずに施工する必要性などから、施工管理や工程管理等について高い技術力や経験を有する業者を選定するためです。	

失格基準価格とは、この価格を下回った場合は失格となる価格です。通常は低入札調査価格を設定し、その価格を下回り更に失格基準を下回った場合は失格としますが、本市の総合評価方式は、現在試行的に実施しており、低入札調査価格は設定していません。

委員意見等

特になし

工 事

案件番号

案件名称

7

令和7年度市道64号線道路舗装及びマンホール蓋補修（鶴巻北二丁目）工事

審議内容

社会貢献（実働）型とした理由は何か。

回 答

社会貢献（実働）型に参加できる資格ですが、過去3年間に本市が発注した災害時及び突発時の応急工事を施工したことがある事業者です。

社会貢献（実働）型とした理由ですが、本工事はインセンティブ発注案件であり、3つの条件を満たした工事を対象としています。

- (1)設計金額が税込3千万円未満
- (2)他の工事との合併工事でないこと
- (3)標準的な（難易度が高くない）工事であること

この工事がこの3つの条件を満たすため、社会貢献（実働）型としました。

委員意見等

特になし

委 託

案件番号

案件名称

8

令和7年度児童館定期設備点検委託業務

審議内容

低落札率となった理由は何か。

回 答

<p>積算については担当課が公共建築課に依頼し、実績を参考に積算しています。過去の同種業務の落札率においても40%台から90%台と一定の傾向が見られず、落札事業者の企業努力により落札率が低くなったものと考えております。</p>
<p>委員意見等</p>
<p>特になし</p>

委 託	
案件番号	案件名称
9～12	令和7年度固定資産評価替え（令和9基準年度）に係る標準宅地等の不動産鑑定委託業務（その1～その4）（単価契約）
審議内容	
<p>いずれの案件も落札率が低いと思われるが、予定価格の算出方法を確認したい。</p>	
回 答	
<p>4人の鑑定士から徴取した見積を基に1地点当たりの平均単価を算出し、それを各地域の地点数に乗じて予定価格としています。</p> <p>不動産鑑定業務は、鑑定士によって経験や鑑定手法が様々で、コストのかけ方も異なります。そうした性質を考慮し、参考見積では平均的な価格が計上されているものと考えられます。市内及び近隣において履行可能な事業者が少ないこともあり、できるだけ多くの事業者に参加してもらえよう地域要件を東京都内までとして入札を実施しているため、競争性が高まり落札価格が低くなる要因となっています。</p>	
委員意見等	
特になし	

委 託	
案件番号	案件名称
13	令和7年度都市公園遊具定期点検委託業務
審議内容	
<p>低落札率の案件のため業務内容を確認したい。</p>	

回 答	
<p>本業務は、市内166か所の公園に設置した、例えばブランコ、すべり台、ジャングルジムなど625基の遊具を概ね2か月で点検を行います。点検業務は「公園施設製品整備技士」または「公園施設点検技士」の資格を有する者が、日本公園施設業協会が規定する基準に基づいて実施します。具体的には、定期点検表等を参照しながら、目で見て、手で触れ、音を聞き、打音したり揺らしたりして部材の摩耗や変形、劣化状態を確認する作業です。</p> <p>低落札率の理由について、まず設計金額は日本公園施設業協会の基準をもとに積算していますが、入札により競争性が働いたことや落札事業者が過去に本市の同様の案件を落札した経験があることから、金額が下がったと考えております。</p>	
委員意見等	
特になし	

委 託	
案件番号	案件名称
14	軽自動車税（種別割）納税通知書封入封緘等委託業務（単価契約）（令和7年度債務負担行為設定）
審議内容	
低落札率となった理由について確認したい。	
回 答	
<p>見積書金額に幅がありますが、設計金額は低い2者のほぼ平均であり、この金額は妥当な金額かと思えます。入札により競争性が働き、1者が応札時に金額を下げたと考えております。</p> <p>なお、市外の事業者には、過去10年以内に発注した類似案件実績の提出を求めています。</p>	
委員意見等	
特になし	

委 託	
案件番号	案件名称
15	令和7年度第1号公共下水道大根第10雨水幹線浚渫委託業

	務
審議内容	
<p>応札者が比較的多いにも拘わらず落札率がかなり高くなった理由を確認したい。</p>	
回 答	
<p>各事業者の入札額は、最終的にはそれぞれの事業者が金額決定したものであると思いますが、どの事業者もそのもととなる金額の出し方は県の基準書をもとにしており、また過去の落札率実績から見ると金額を抑えることが難しい業務であると推測され、高い金額になったと考えています。</p>	
委員意見等	
特になし	

物 件	
案件番号	案件名称
1 6	令和7年度中学校理科教育備品等の購入
1 7	令和7年度小学校理科教育備品等の購入
審議内容	
<p>市内4者のみが参加する同様の入札が定期的に行われる状況にあるように思われるので、近年の関連入札案件の落札状況を確認したい。</p>	
回 答	
<p>調査票の業務の背景に記載しておりますが、令和5年度の監査指摘により以前は各学校で執行していましたが、令和6年度から入札案件としております。</p> <p>理科教育備品を取り扱うメーカーが数者のみで、その代理店が入札に参加していますので、毎年同じような事業者に限られます。昨年度の落札状況は、同じこの4者が参加しており、うち1者が辞退でした。</p>	
委員意見等	
特になし	

物 件	
案件番号	案件名称
1 8	令和7年度小学校廃食用油の売払い（その2）（単価契約）

審議内容	
2回目入札で落札率100%になっている理由は何か。	
回 答	
<p>1回目の入札金額が40円となっていますが、計算してみると事業者が単価の金額を錯誤により入れてしまったようで、予価オーバーのためもう1回となり、翌日2回目の入札を行いました。</p> <p>2回目で結果として、100%の金額となりました。前年度の契約事業者から参考見積書を徴し、その価格を予定価格とした結果、応札事業者が当該事業者一者のみであったため、落札率が100%となったものです。</p>	
委員意見等	
特になし	

物 件	
案件番号	案件名称
19	令和7年度地下水大口径量水器（バーター）購入
審議内容	
低落札率となった理由について確認したい。	
回 答	
<p>口径の大きな量水器を取扱う業者は全国的にも限られています。今回、事業者の所在地要件を全国に広げましたが、入札参加者は2者でした。参考見積を徴取した業者の価格を予定価格としたところ、別の業者が落札したため、低落札率となったものと考えています。</p>	
委員意見等	
特になし	

物 件	
案件番号	案件名称
20	令和7年度秦野市立小中学校学習用端末等の購入
審議内容	
資格無者、辞退者がおり最終的に応札者が1者で、落札率は100%となっていることについて経緯を確認したい。	

回 答

「資格無」については、入札参加資格である「同種業務受注実績」を有していなかったためです。

また、応札者が 1 者となり、落札率が 100%となっていることに関しては、参考見積を徴取した事業者が落札したためだと考えます。

この応札事業者ですが、11,000 台の調達において神奈川県から選定された事業者です。賃貸借契約においては、契約の相手先はその事業者ではなく入札で決定したリース会社と契約を行いました。

今回の購入の案件においては、必ずしも賃貸借契約の選定事業者から購入しなければならないわけではないため入札を行いました。ほかの 2 者が辞退となった理由について、具体的には把握できませんが、落札事業者が賃貸借と購入のパソコンをまとめて大量に購入できコストメリットがあることが推測できるため、辞退したのではないかと想定しています。

委員意見等

参考見積書を取ったのが 1 者のようですが、2 者以上から取った方がいいと思います。

3 その他

4 閉 会